

あなたは読み終えた時に
初めて気付くのだ。

本屋でこの表紙を見ている
今、その瞬間から



読後、もう一度
このタイトルを
見返してください。

タイトルも含めて全てが緻密に仕組まれた読者への「罠」
読書の面白さの到達点か問題点、なくここにある。

作者の畏に
はまっていくことに

『天啓の殺意』 中町信

創元推理文庫